

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 龍心会

1. 法人の概要

(1) 経営理念 「思いやりの心」

(2) 経営思想

- 一、真心こめた丁寧な福祉サービスをめざします。
- 一、ご利用者・ご家族様との信頼関係を大切にします。
- 一、地域から選ばれる施設、必要とされる施設をめざします。
- 一、幼老交流を通じた個人の尊厳の維持と、心身の健やかな育成をめざします。
- 一、仕事を通じた職員の自己実現をめざします。

(3) 施設運営

- 1) 本体事業の稼働率の低迷が続き、財務体質の改善が必要であるが、昨年と比べ、若干改善傾向となる。
- 2) 委託業者の変更により、費用の見直しを行った。
- 3) 法改正に伴う就業規則の改定を随時実施（有期雇用契約者の無期転換変更権、有給休暇の取得時季指定権など）。
- 4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組み。

(4) 人事管理

- 1) 職員からの声（職員同士の苦言・苦情、サービス提供に関する事等）に耳を傾け、働きやすい職場環境の形成に努めたが、様々な理由で離職者の多い年度となった。
- 2) 職員間の公平性（夏冬休暇・有給休暇の取得数、超過勤務数等）、及び勤務意欲が保たれるよう、法に準拠した労務管理に努めたが、取得者と取得しない人との差は大きく、結果、公平とはいかない。
- 3) 積極的な求人活動を展開することにより、退職による介護力及び看護力並びに保育力の低下が伴わないよう努めたが、全国的にも不足している介護職員の確保が困難となってきた。
- 4) いったん退職した者が復職するケースが多いのがハートヴィルツェ及びエンヂェルハートに共通する特徴の一つ。働きやすい環境の形成に努め、外部流出を防ぐ事も必要である。

(5) その他

- 1) 改正社会福祉法に則し、公益性・非営利性の確保、事業運営の透明化を図り、今後も継続して行う。
- 2) 連携強化により、「思いやりの心」の経営理念に基づく経営思想の実現を図り、今後も幼老交流に注力したい。
- 3) 委員会・会議を充実させることにより、リスク管理や虐待防止、褥瘡予防、感染予防その他のサービス向上などについて積極的に取り組むことができた。
- 4) 専門職としてのスキルアップの為、千葉県、印西市、社協や提携・近隣医療機関・施設で開催する研修会には積極的に参加し、また各種委員会・会議等を活用し、参加した職員のみならず、他の職員への報告・連絡等を行なうことにより施設全体の共通認識として役立たせる体制を今後も継続する。

2. 役員会等の開催状況

(1) 理事会

- 1) H31.4.25 (金) 第1回理事会 理事5名/監事2名出席
①次期役員選任の件 ②平成30年度事業報告 ③平成30年度決算報告 ④監事監査報告 ⑤定款一部変更の件 ⑥評議員選任・解任委員任期満了に伴う選任の件 ⑦その他の報告事項 (H30年度寄附金収入実績報告・法人公用車自動車保険更新の件)
- 2) R1.5.10 (金) 第2回臨時理事会 理事6名/監事2名出席
①新役員選任結果報告 ②理事長選任の件 ③理事長の職務代理者選任の件 ④常務理事選任の件 ⑤施設長選任の件 ⑥委嘱状及び辞令書交付の件
- 3) R1.11.15 (金) 第3回理事会 理事5名/監事2名出席
①令和元年度上期中間決算報告 ②令和元年度第1次補正予算 ③給与規程一部変更の件 ④法人公用車 (送迎用福祉士車両) 購入の件 ⑤その他の報告事項 (令和元年度上期寄附金収入実績収入実績報告・エンジェルハート保育園備品購入の件)
- 4) R2.1.24 (金) 第4回理事会 理事5名/監事2名出席
①評議員選任・解任委員会委員選任及び解任の件 ②給食委託業者委託費及び食材料費改定の件
- 5) R2.3.27 (金) 第5回臨時理事会 理事6名/監事2名出席
①令和元年度第2次補正予算の件 ②令和2年度当初予算の件 ③令和2年度事業計画の件 ④介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業における印西市以外のサービス提供地域の変更の件 ⑤評議員選任・解任委員解任の件

(2) 評議員会

- 1) R1.5.10 (金) 定時評議員会 評議員 5 名及び理事長出席
①次期役員選任の件 ②平成 30 年度事業報告 ③平成 30 年度決算報告 ④定款一部変更の件

(3) 評議員選任・解任委員会

- 1) R1.5.10 (金) 第 1 回評議員選任・解任委員会 委員 4 名出席
①委員選任報告の件 ②委員長選任の件 ③委嘱状交付の件 ④定款一部変更の件
- 2) R2.1.24 (金) 第 2 回評議員選任・解任委員会 委員 4 名出席
①評議員選任・解任委員会委員選任及び解任の件 ②就任承諾書、委嘱状交付の件
- 3) R2.3.27 (金) 第 3 回評議員選任・解任委員会 委員 4 名出席
①評議員選任・解任委員会委員 解任の件

3. 各種許認可・申請・届出関係

- (1) 自家用有償旅客運送に係る登録事項変更届出書 (H31.4.18/関東運輸局)
- (2) 目的変更、理事変更、資産変更登記 (H31.4.18、R1.5.17、6.20/千葉法務局)
- (3) 役員変更届 (R1.5.15/県)
- (4) 社会福祉法人現況報告 (R1.5.31/市)
- (5) 給食運営現況報告書 (R1.6.7/印旛健康福祉センター)
- (6) 財務諸表報告シート・事業報告書・施設状況票 (R1.7.11/福祉医療機構)
- (7) 介護職員処遇改善実績報告書・計画書 (R1.7.25、8.23 他/県・市)
- (8) 消防訓練通知書提出 (R1.7.30、11.25/印西市消防署)
- (9) 介護保険加算届出 (特定処遇改善加算率の申請等/R1.8.26/県)
- (10) 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書 (R1.8.26/県)
- (11) 介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者に関する届出書 (R1.8.26/市)
- (12) 36 協定および給与規程変更届 (R1.11.25/成田労基署)
- (13) 通所介護事業定員変更届 (30 名より 33 名へ変更/R1.11.29/県)
- (14) 給食施設栄養管理状況報告書 (R1.12.20/印旛健康福祉センター)
- (15) 消防用設備等点検結果報告書 (R1.12.24/印西市消防署)
- (16) 感染症・結核定期健康診断報告書 (R2.1.23/印旛健康福祉センター)
- (17) 民間社会福祉施設整備資金借入金補助金・利子補給金交付申請及び実績報告書
(R2.1.27/県)
- (18) 介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者に係る廃止・休止届出書 (R2.2.21/市)
- (19) 定期健康診断結果報告書・ストレスチェック結果報告書 (R1.3.20/成田労基署)
- (20) 子ども・子育て支援法に基づく業務管理体制の整備に関する事項の届出書 (R2.3.23/市)

4. 事業毎の概況（ハートヴィレッチ）

(1) 特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ 特別養護老人ホーム ハートヴィレッチⅡ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った安心感と信頼感のある介護サービスの提供を常に心掛けた。
- 2) 主な取り組み
 - ①介護ニーズの把握と的確な対応に努めた。
 - ②栄養管理、衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実の為に、カンファレンスや委員会、会議等の充実に努めた。
 - ③充実した生活の確保と保証を行うべく、季節行事やレクリエーション等の企画と運営に努めた。
 - ④地域貢献とサービス向上の為に、介護実習やボランティア、介護相談員等の受け入れを積極的に行った。
- 3) 健康管理・衛生管理
 - ①職員のマスク着用義務の強化、及び徹底した面会制限等により、新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の施設内蔓延予防に努めた。
 - ②協力医療機関（北総白井病院・島田台総合病院）、及びその他近隣医療機関との連携の強化により、ご利用者・ご家族に安心していただける健康管理体制を構築した。
 - ③ご利用者、及び職員の定期健康診断の実施により、健康状態の把握、疾病の早期発見、予防の為の措置を取った。
- 4) その他
年間平均稼働率89.88%、短期入所との合算による加重平均稼働率についても90.12%と低迷が続き、全国平均値（平均稼働率94%）に及ばず。今後一層の努力が必要。

(2) 短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ 介護予防短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った丁寧で満足、納得の得られる介護サービスを提供し、繰り返しご利用いただけるよう真心を込めたサービスを心掛けた。
- 2) 主な取り組み

- ① 自立的な日常支援と、心身の機能の維持、並びに身体的、精神的負担の軽減に努めた。
- ② 家族及び介護支援専門員との関係を密接にすることにより、利用者の心身の状況、その置かれている環境や保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めた。
- ③ 健康管理・衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実に努めた。
- ④ 苦情処理体制の強化、並びにフォローアップ体制の充実に努めた。
- ⑤ 稼働率向上に向けた地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への渉外活動を積極的に展開した。

3) その他

年間平均稼働率98.94%。前年度からほぼ横ばい状態。

(3) 通所介護事業所 ハートヴィレッチ

介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った「地域に根ざしたデイサービス」の確立を目指し、ご利用者、ご家族、及び地域がマネとの信頼関係の構築に努めた。
- 2) 主な取り組み
 - ① 介護ニーズの把握と的確な対応に努めた。
 - ② 個別性の高い介護（支援）サービスによる、五感で楽しめるサービスの充実に努めた。
(機能訓練・レクリエーション・コミュニケーション・喫茶・食事作り、等)
 - ③ 地域貢献（職場体験の受入、キャラバンメイト・認知症ポーター養成講座、近隣中学校への出張講義等）への参加・協力を積極的に行った。
 - ④ 個別機能訓練の充実に努め、機能改善及び機能減退防止に積極的に取り組んだ。
 - ⑤ 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所との連携を強化し、稼働率の向上に努力した。

3) 食事レク・おやつ作り

他事業所との差別化戦略として、食事レク・おやつ作りには趣向を凝らす。

月	食事レク	おやつ作り
4月	ハンバーグ	—
5月	牛丼 青空食堂（豚丼）	スイートポテト ミルクずもち風
6月	ハンバーグ	—

7月	カレー・ヨーグルト煮作り 涼麺	—
8月	チーズインハンバーグ	わらび餅 白玉金時が氷のせ
9月	豚肉のしょうが焼き作り 秋刀魚の塩焼き	—
10月	炭火で秋刀魚焼き うなぎの蒲焼き（うなぎ） ドラカレー	—
11月	ハンバーグ作り お鍋	4日間実施
12月	お鍋の日 中華ビュッフェ	—
1月	—	—
2月	3種の Pasta	白玉おしるこ かき蒸しパン
3月	—	手作りお菓子 抹茶

4) その他

年間平均稼働率 88.47%。急な病気欠席などにより、稼働率を下げる要素はあるものの、年間平均稼働率は昨年度に比べ 7.65 ポイント上昇。

(4) 居宅介護支援事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿い、ご利用者・ご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援を積極的に行った。
- 2) 主な取り組み
 - ①専門職としてのスキルアップの為、アセスメント・モニタリングの質の向上に積極的に取り組んだ。
 - ②外部（他事業所・他職種）との連携強化による、よりニーズに沿ったケアプランの作成に努めた。
 - ③担当ケース数の確保が目下の課題。経営的思考、戦略的思考により現在の危機的状況を打破する努力が求められる。
- 3) その他

年間平均稼働率 86.34%。昨年度に比べ 8.23 ポイント上昇。地域包括支援センターや医療機関のメディカルソーシャルワーカー（医療相談員）とのより強い連携が求められる。

資料 介護系事業（ハートヴィレッチ）年間月別稼働率

月	特養	短期	(特養+短期) 加重平均	通所	居宅
4月	95.94%	104.33%	93.97%	86.15%	80.73%
5月	89.68%	100.97%	90.00%	76.91%	80.73%
6月	91.12%	113.67%	93.00%	78.13%	80.21%
7月	91.55%	100.32%	92.23%	84.81%	79.17%
8月	90.23%	108.06%	91.72%	82.59%	80.21%
9月	89.15%	87.33%	89.00%	91.25%	80.21%
10月	87.80%	90.32%	88.01%	92.18%	86.46%
11月	87.61%	76.67%	86.69%	96.41%	88.02%
12月	88.68%	93.87%	89.11%	95.33%	86.46%
1月	88.39%	115.81%	90.67%	95.83%	93.75%
2月	90.45%	106.55%	88.94%	89.73%	101.04%
3月	87.92%	89.35%	88.04%	92.31%	96.35%
平均	89.88%	98.94%	90.12%	88.47%	86.34%
前年実績	90.32%	98.38%	90.97%	80.82%	78.11%

(5) 福祉有償運送事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念、及び社会福祉法人の責務とした公益的取り組みの趣旨に沿った事業所運営を推進した。
- 2) 目的 日常生活又は社会生活上の支援を必要とする要支援・要介護の認定を受けている方に対して、無料又は低額な料金で移送サービスの提供に努め、微力ながら地域福祉への貢献を果たす。
- 3) 主な取り組み
 - ①福祉有償運送を必要とする地域の高齢者（要支援、要介護認定者）の方に対し、専任職員を配置し、そのニーズに迅速・的確に対応し、微力ながら地域貢献に努めた。
 - ②無事故・無違反、徹底した安全運転により、ご利用者・ご家族が安心して利用できる環境に努めた。

4) 事業実績

	件数	収支差額 (円)		件数	収支差額 (円)
H31.4月	19	▲22,258	R1.10月	47	▲39,122
R.1.5月	44	▲30,754	11月	36	▲30,356
6月	34	▲47,803	12月	23	▲16,509
7月	27	▲37,265	R 2. 1月	28	▲25,619
8月	46	▲30,912	2月	14	▲19,358
9月	45	▲32,422	3月	31	▲32,612
			年間合計	394	▲364,990

5. ハートヴィレッジ/行事報告

月	行事	月	行事
4月	寿司バイキング・花見・幼老交流会	10月	運動会 保育園運動会参加 お買い物サロン
5月	バラ園外出・お買い物サロン	11月	芋バイキング・寿司バイキング
6月	休園外出	12月	—
7月	夕涼み会・エンジェルハート夏祭り参加	1月	初詣 書初め
8月	スワカ割り・保育園交流会	2月	節分(豆まき)
9月	敬老会・秋まつり・幼老交流会「Run友」参加	3月	ひな祭り 満足度調査

6. ハートヴィレッジ/行事食・季節食

月	行事	月	行事
4月	寿司バイキング	10月	秋の味覚御膳
5月	さつき御膳	11月	芋バイキング 寿司バイキング
6月	麦とろ	12月	南瓜の小倉煮 クリスマス会食
7月	七夕そうめん 土用丑の日(うな玉)	1月	御とそ・御節料理 小豆粥・七草粥・お汁粉
8月	お盆精進料理	2月	福内膳・バレンタインデー

9月	重陽の節句（重陽飯） 敬老の日祝い膳 月見そば	3月	ひな祭り膳・甘酒
----	-------------------------------	----	----------

7. ハートヴィレッチ／ボランティア・職業体験受入状況報告

月	行事	月	行事
4月	ホッポの会	10月	ハーモニカボランティア 琴・尺八ボランティア ホッポの会
5月	ホッポの会	11月	ハーモニカボランティア・ホッポの会・ 木刈中職業体験・西の原 中／ボランティア体験
6月	ハーモニカボランティア ホッポの会	12月	ホッポの会・船穂中／ボラン ティア体験
7月	ホッポの会 ハーモニカボランティア 桜台中学校職業体験	1月	ハーモニカボランティア・ホッポの会
8月	ホッポの会 アコティオンボランティア	2月	ホッポの会
9月	ハーモニカボランティア・ホッポの会・西 の原幼稚園交流会・木下囃子 保存会・演歌歌手・印西市社 協・小池マジッククラブ・コーラス・ハン ド演奏	3月	—

8. ハートヴィレッチ／各種会議開催状況報告

会議	内容	出席者	開催
運営会議	各部署の実績や抱える問題 の提議・討議、施設で取り組 む案件等、各部署の責任者 に施設の方針を周知する。	施設長・副施設 長その他全部署 の責任者	毎月最終水曜
全体会議	各種規程・マニュアルの読み合わ せや研修報告、その他直近 の重要案件の周知	全職員	不定期 ※年6回程度
感染症・褥瘡対 策委員会	感染・褥瘡対策及び予防につ いて話し合う。	看護師・生活相談 員・介護課長・栄 養士・各フロア委員	本) 隔月第2水曜 新) 隔月第2火曜

入浴・理美容委員会	入浴及び理美容に関連して業務の効率性・安全性・快適性について話し合う。	生活相談員・介護課長・各フロア委員	本) 毎月第1火曜 新) 毎月第2火曜
食事会議	行事食や食事の安全性・味及び彩りなどについて話し合う。	施設長・副施設長・栄養管理センター長・栄養士・委託会社・介護課長・各フロア委員	毎月第3金曜
排泄委員会	ご利用者毎の排泄について検討し、清潔・省力・コストダウンを図る。	事務長・生活相談員・介護課長・各フロア委員	本) 毎月第1月曜 新) 毎月第1火曜
サービス向上・リスクマネジメント委員会	業務の改善を主な議題とし、事故発生防止の検討の他、ご利用者の処遇改善及びサービス向上につながる企画等を立案する。	生活相談員・介護課長・フロアリーダー・看護師・各フロア委員	本) 毎月第4水曜 新) 毎月第4火曜
入所判定会議	県の指針に基づき入所申込者の優先順位をつけ、入所の選定を行う。	施設長・副施設長・生活相談員・介護課長・看護師・ケアマネ	本) 毎月第1木曜 新) 毎月第1火曜
ケアカンファレンス	ご利用者毎に最良と思われる援助や処遇方針について検討する。	施設長・副施設長・ケアマネ・生活相談員・介護課長・看護師・栄養士・フロアリーダー・各居室担当	本2) 毎月第4木曜 本3) 毎月第3木曜 新) 毎月第4金曜
衛生委員会	職員の健康診断分析、職場内の巡回にて危険な作業の有無のチェック及び改善指導、腰痛予防等、衛生に関わる指導をいただく。	施設長・副施設長・介護課長・事務主任・産業医	毎月第2木曜
広報委員会	広報誌「はーと通信」の編集・発行 ※年2回発行	施設長・副施設長・生活相談員・介護課長・各フロア委員	年5回程度

フロア会議	各フロアの業務について意思統一を図り、安定したサービス提供を行うよう話し合う。	生活相談員・介護課長・各フロア職員	本 2) 第 4 木曜 本 3) 第 3 木曜 新 2) 第 4 水曜 新 3) 第 3 火曜
デイ会議	デイの業務について意思統一を図り、安定したサービス提供を行うよう話し合う。	生活相談員・副生活相談員・看護職員・介護職員	毎月第 2 金曜

9. 事業毎の概況（エンジェルハート）

(1) エンジェルハート保育園

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念を基本に、常に子どもたちの目線に立ち、子ども一人ひとりの成長に応じた保育を行い、多くの周囲の方々との関わりを持ち、異世代とのコミュニケーションを通して社会で自立した人間として力強く生きていく為の人間力の成長を重視した。また地域の保育拠点を目標とし、子育て家庭に対する支援の充実を目指した。

2) 主な取り組み

①食育

月	行事	月	行事
4月	野菜の苗植え	10月	—
5月	子どもの日の会 クッキング（きりん組）	11月	芋堀り・焼き芋 クッキング（ぞう・きりん組）
6月		12月	クリスマス会
7月	野菜の収穫 クッキング（きりん組）	1月	餅つき大会 給食試食会
8月	—	2月	節分
9月	梨狩り	3月	ひな祭りの会 お別れ会（幼児会食）

※ 毎月 誕生日会を実施

四季折々の食材を使用し、栄養のバランス、料理の色彩、食材のカットサイズにまでこだわり、給食を美味しく味わっていただけるような工夫をしていった。また、毎月の誕生日会の日には普段より豪華な給食を、行事の日には行事にちなんだ見た目にもおいしい給食を提供した。

園庭の畑では、各組で育てたい野菜を1つ決め、うさぎ組はトマト、ぞう組はナス、きりん組は大根を育て、加えて全体でさつまいもを育てた。園児が水をあげ、野菜が生長していく様子を観察することができた。7月頃には自分たちで育てた野菜の収穫を行ない、実りの喜びを分かち合った。また、きりん組は、大根の収穫を行ない、大根サラダを調理して食べた。11月には、畑でさつまいもを収穫し、そのさつまいもと燻炭器ともみ殻を使用し、本格的な焼き芋を食べた。ぞう組・きりん組では、収穫したさつまいもをクッキングでスイートポテトをつくった。

②健康管理

年2回の内科検診・歯科検診及び、年1回の尿検査を行ない子どもたちの健康管理に努めた。また、日々の業務では、午睡中のSIDSのチェックを行ったり、食事前後や午睡前後で触診及び体温計で子どもたちの体温をこまめに測り、体調不良児の早期発見及び集団感染の未然防止に努めた。

③衛生管理

インフルエンザ・ノロウイルス・胃腸炎及び新型コロナウイルスの感染症拡大予防に注力。体調の悪い職員に対しては、その日は休養を与え、シフト調整して対策を行った。年度末には、新型コロナウイルス感染対策としてアルコール消毒の励行、空気清浄機の設置、園児の登園制限等を行なった。

④各行事の開催

毎月開催のお誕生会をはじめ、季節に応じた各種行事を起案した。特に園の三大大行事である夏祭り・運動会・お遊戯会にはたくさんの保護者の方々にご来園頂いた。新型コロナウイルスの影響で卒園遠足は中止にしたが、卒園式は感染対策を講じ実施した。

感染症拡大防止にも努めつつ、今後も保護者にも子どもにも喜ばれる行事を増やしていきたい。

⑤各会議について

会議は、職員会議、乳児会議、幼児会議、給食会議を行ない、それぞれ毎月定期開催している。職員会議は、職員が一致協力して保育を行なっていく上で、園運営に関する保育方針や様々な課題への対応方策についての共通理解を深める。乳児会議及び幼児会議は子ども一人ひとりに対しての接し方について検討し、その子に合った個別の対応を検討している。また給食会議では、提供した給食の喫食状況や残菜状況及び嗜好調査等のデータから、給食の改善改良について外部委託業者と検討している。

3) 年間園児数並びに稼働率

	0歳児 園児数 (稼働率)	1歳児 園児数 (稼働率)	2歳児 園児数 (稼働率)	3歳児 園児数 (稼働率)	4歳児 園児数 (稼働率)	5歳児 園児数 (稼働率)	合計 稼働率
H31年4月	2名 (20%)	11名 (110%)	13名 (130%)	14名 (78%)	18名 (100%)	16名 (89%)	73名 (86.9%)
R1年5月	6名 (60%)	11名 (110%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	79名 (94.0%)
R1年6月	6名 (60%)	11名 (110%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	79名 (94.0%)
R1年7月	6名 (60%)	11名 (110%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	79名 (94.0%)
R1年8月	7名 (70%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	81名 (96.4%)
R1年9月	7名 (70%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	81名 (96.4%)
R1年10月	8名 (80%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	18名 (100%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
R1年11月	8名 (80%)	12名 (120%)	12名 (120%)	14名 (78%)	17名 (94%)	16名 (89%)	80名 (95.2%)
R1年12月	9名 (90%)	12名 (120%)	12名 (120%)	14名 (78%)	17名 (94%)	16名 (89%)	80名 (95.2%)
R2年1月	9名 (90%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	17名 (94%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
R2年2月	9名 (90%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	17名 (94%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
R2年3月	9名 (90%)	12名 (120%)	13名 (130%)	15名 (83%)	17名 (94%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)

※ 各月初日子ども数

※ 定員84名(0・1・2歳児各10名、3～5歳児各18名)

(2) エンジェルハート保育園一時預り事業

1) 基本方針

パートタイム就労等を理由とする定期的な利用や、緊急に生ずる一時預かりのニーズへの対応が求められる。

育児の孤立化に伴う育児不安の増大や児童虐待の増加等に対応するため、子育て家庭を支える基盤強化を進めていく。

2) 主な取り組み

育児の孤立化に伴う育児不安の増大や児童虐待の増加率に対応するため、子育て家庭を支える基盤強化を進めた。

3) 年間児童数並びに稼働率

	総児童数 (名)
H31年4月	47
R1年5月	37
R1年6月	39
R1年7月	34
R1年8月	23
R1年9月	32
R1年10月	24
R1年11月	29
R1年12月	17
R2年1月	37
R2年2月	22
R2年3月	21

(3) エンジェルハート保育園地域子育て支援拠点事業

1) 基本方針

本地域における乳幼児及びその保護者が相互交流を行なう場所として、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なっていく。

子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みを相談できる雰囲気作りを進める。

2) 主な取り組み

子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みを相談できる雰囲気作りを進める。

3) 年間児童数並びに稼働率

	総児童数 (名)	保護者数 (名)	妊産婦 (名)
H31年4月	58	46	10
R1年5月	29	24	5
R1年6月	56	46	10
R1年7月	58	34	9
R1年8月	30	21	5
R1年9月	61	49	8
R1年10月	47	37	5
R1年11月	60	43	7
R1年12月	44	34	1
R2年1月	58	43	1
R2年2月	71	62	1
R2年3月	0	0	0

(4) エンジェルハート保育園病児保育事業

1) 基本方針

保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応や地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援する。

2) 主な取り組み

①健康管理

今年度より看護師が園児の健康管理全般を行なった。

日々の業務として、与薬管理や乳児保育を行う。また、医療経験者として保育士に医療的な指導を行なった。

また、健康カードを発行して園児一人ひとりの発育状態を管理した。毎月の手紙として保健だよりを発行開始し、家庭との共通理解を図り、保護者が子どもの健康に関心を持たせるようにしていった。

また、保育中に体調を崩した子どもは保健室にて個別で対応した。病院で診療が必要な子どもは、子どもが不安にならないように一緒に同伴した。

②衛生管理

子どもたちに手洗い・うがいの方法について指導していった。また、ピューラックスやマイクロテクトの用途・使用方法の説明をしていった。

(5) エンジェルハート学童クラブ

1) 基本方針

「思いやりの心」を基本に、常に子どもファーストの視点に立ち、その成長に応じた育成支援を目指すことができた。広く地域の育成支援の場としての役割を自覚し、子育て家庭に対しての支援の充実を図ることができた。

2) 主な取り組み

①食育

月	行事	月	行事
4月	誕生日会	10月	ハロウィン
5月	誕生日会	11月	焼き芋 誕生日会
6月	誕生日会	12月	クリスマス会
7月	誕生日会	1月	—
8月	誕生日会	2月	節分 バレンタイン 誕生日会
9月	誕生日会	3月	誕生日会

学童クラブでは、補食として15時におやつを提供している。子どもたちの嗜好するようなお菓子を200kcal目安に食感や味覚のバランスを考慮しての提供を心掛けた。毎月の誕生会では、誕生日の子どもたちの希望するもので普段より豪華なおやつを提供した。

チョコレートやクッキーといったお菓子に限らず、焼きおにぎりや肉まん、たこやきといったような食事に近いものや、チーズやヨーグルトなど栄養価がたかいものも提供した。ハロウィンや節分等、季節に合わせたおやつを提供した。

②健康管理

体調の優れない子どもには自宅療養を促していった。登所中の子どもは、一人一人の子どもの様子に配慮し、声かけや検温を行なっていった。体調不良児童には、保健室にて個別で対応したり、静養コーナーで休息をとらせるようにした。

③衛生管理

子どもたちに、室内に入ったら手洗い・うがいを行なう様に指導していった。また、感染症が流行する時期には、マスク着用を励行していった。

④各行事の開催

毎月開催のお誕生会をはじめ、季節に応じた各種行事を起案した。学童クラブでは、一日開所日を中心に行事を起案した。遠足は、夏休みに草笛の丘公園へ行き、草笛の指導を受けた。また、長期間一日開所となる夏休み中は、小学校のプールを利用しに行った。今後は子どもにも保護者にも喜ばれる行事を増やしていきたい。

⑤各会議について

職員会議を毎月開催している。職員会議は、職員が一致協力して保育を行なっていく上で、運営に関する保育方針や様々な課題への対応方策についての共通理解を深める。また、子ども一人ひとりに対しての接し方について検討し、その子に合った個別の対応を検討している。

3) 年間児童数並びに稼働率

	1年生 児童数 (名)	2年生 児童数 (名)	3年生 児童数 (名)	4年生 児童数 (名)	5・6年生 児童数 (名)	総児童数 (名)	稼働率 (%)
H31年4月	13	11	8	5	1	38	126.7
R1年5月	13	10	8	5	1	37	123.3
R1年6月	13	10	8	5	1	37	123.3
R1年7月	12	11	9	5	1	38	126.7
R1年8月	12	10	9	5	1	38	126.7
R1年9月	12	10	7	3	0	32	106.7
R1年10月	11	10	6	2	0	29	96.7
R1年11月	11	10	6	2	0	29	96.7
R1年12月	10	10	6	2	0	28	93.3
R2年1月	11	10	5	2	0	28	93.3
R2年2月	11	10	5	2	0	28	93.3
R2年3月	11	10	6	3	0	30	100.0

※ 定員 30 名

※ 短期入所者を含む

以上